

平成22年度 「学力向上 プロジェクト」 について

本年度、上島町は愛媛県教育委員会より、「学力向上プロジェクト事業」の地域指定を受けています。

この事業の目的は、県独自の学力診断調査等を基に、「愛媛県学力向上推進委員会」の方針に基づき、市町における学力向上に係る検証改善サイクルの確立の在り方について、推進モデル地域を指定して調査研究を行い、その成果の普及を図ることにより県全体の学力向上に資するものです。

上島町教育委員会では、「上島町学力向上のためのグランドデザイン」（右図）を作成し、町内小中学校に周知いたしました。また、各小中学校から学校だより等を活用し、各家庭にも協力依頼をしております。

上島町においては、地域の各種団体の方々が子どもたちの健全育成のために積極的に取り組んでいただいております。今後とも、グランドデザインに記載していますように、子どもたちの学力向上・健全育成に、ご協力の程よろしくお願いいたします。

上島町学力向上のためのグランドデザイン

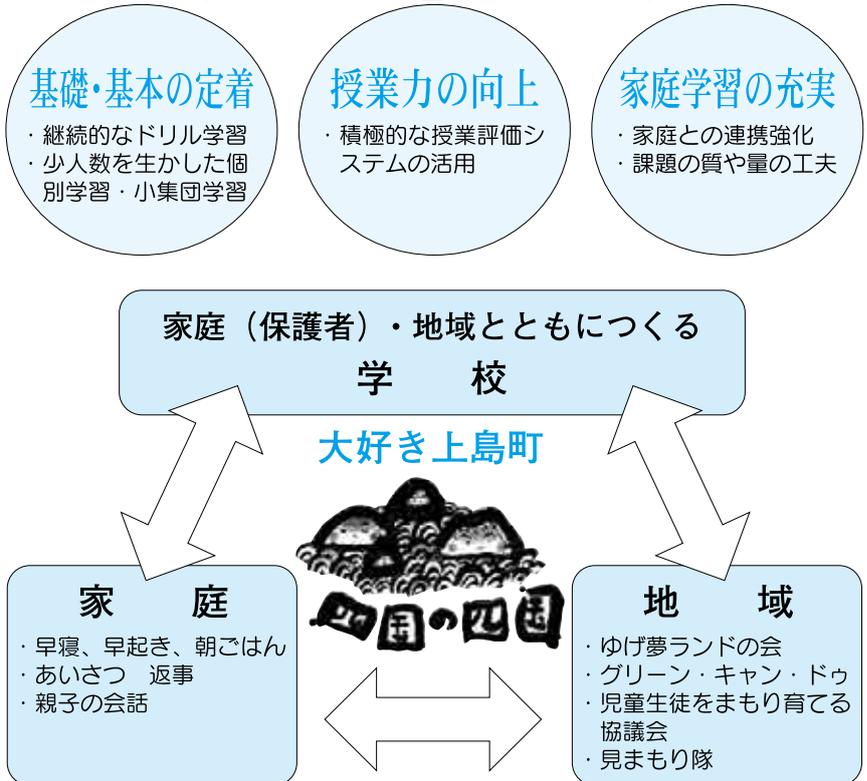
～「学力向上プロジェクト事業」における学習指導改善プラン～

上島町全体の児童・生徒の確かな学力の定着と向上

児童・生徒一人ひとりには、かけがえない宝であり、地域社会をつくる核である。

めざす児童・生徒像

真剣に・積極的に・協力的に・粘り強く取り組む子



今年も、離島中学生の夢を乗せた、正式名「国土交通大臣杯 全国離島交流中学生野球大会」、通称「離島甲子園」が、鹿児島県の種子島で開催されました。(来年は上島町で開催されます)

私の参加は仕事の都合上、後半の2日間でしたが、開会式前日には、前原国土交通大臣が出席され中学生を励ましてくれました。

試合の経過は、上島町HPにおいて即時に知ることができ、離島の不便さを感じることが少なくなってきました。(余談ですが、種子島に新聞が届くのは午後からだそうです)優勝候補に惜しくも最少得点で競り負けるなど、限らない可能性を秘めた中学生に、来年への期待が大きく膨らみました。私が観戦した試合の後に、監督さんから選手の前で挨拶をと言われましたが、涙する選手の姿に、しばらくは言葉が出てきませんでした。

この離島甲子園は「マサカリ投法」で有名な、村田兆治さんが提唱した大会であり、プロの力、大人の力を見せるため、中学生に対しても全力でぶつかってほしいです。

私も、上島町の大人として、何事にも手を抜くことなく、楽な道を選ぶことなく、子供たちの目標となるような行動をとらなければなりません。

上島町長
上村俊之

こんにちは 町長です

